

**【 敬老祝金給付事業最終案修正について 】**

敬老祝金給付事業につきましては、第4回高齢者福祉事業検討協議会において、現在の平均寿命や敬老祝金給付の目的である、長寿を祝うということを考慮し、満88歳になる方に2万円また、満100歳になる方に3万円を贈呈することを最終案としてまとめていただいたところです。

今回最終案として、給付対象を満100歳とすることから、秘書課で実施している、満100歳になる方を対象とした「百賀の祝い事業」の2つの事業について、別添の最終案（修正）のとおり整理を行いたいと考えます。変更理由につきましては以下のとおりです。

**【支給対象者の変更について】**

- ・百賀の祝い事業の対象者は、年度内に満100歳を迎える方となっているため、敬老祝金につきましても年度内に満100歳を迎える方とします。
- ・支給方法については、原則、市長が訪問する際に手渡しにて行います。なお、対象者の都合等により直接お渡しすることが難しい場合は、後日口座振込みを行います。
- ・満88歳・満100歳に共通する事項として、基準日以降（支給前）に亡くなってしまった場合は、ご家族様等に弔慰金として現行どおり給付します。

**【支給対象基準日の変更について】**

- ・百賀の祝い事業は、対象者が満100歳を迎える月に訪問します。これに合わせ、敬老祝金（満100歳）も支給基準日を4月1日に変更します。
- ・満88歳におきましては、毎月の給付にすると事務処理上、年度内に給付の手続きを完了させることが難しくなることから、従来どおり、敬老の日がある9月に給付を行います。

**【経過措置について】**

4月1日を基準日とし、受給資格を祝金の給付を受ける年度内に該当年齢に達する方に変更することで、令和7年1月1日～令和7年3月31日に満88歳、満100歳に達する方が給付対象外になってしまうため、令和7年度の給付対象とみなして支給対象といたします。

※「百賀の祝い事業」とは、満100歳を迎える方に対し、市長が自宅や施設を訪問し、お祝いとして寿状と記念品をお渡しする事業です。